

# 令和元年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業方針

## 令和元年度 圏域市長会事業方針 3本の柱

この圏域が北東アジアのゲートウェイとして、日本海側の一大拠点となるよう、産学・医工連携の推進による新産業の創出をはじめ、インドとの経済交流による人材確保、中海・宍道湖・大山圏域観光局による観光素材の磨き上げなど、グローバルな動きの強化を具現化する取組や、より強いインフラ整備・拡充が求められています。

圏域市長会発足8年目となる令和元年度においては、次に掲げる『3本の柱』の継続を軸に、新たに台湾との交流や圏域への移住・定住等の促進を図り、圏域の強固な連携のもと、全国、そして世界を相手に、ダイナミックに取り組めます。

また、圏域市長会の地方版総合戦略（第1期）の総仕上げとして、5か年の総点検を行い、地方創生のさらなる充実・強化に向け、さらにレベルアップさせた次期総合戦略を策定します。

## 圏域から全国へ そして世界へ

### ① 力強い圏域産業の国内外への発信

- 産学・医工連携の体制強化を支援
- インドとの経済交流事業の継続醸成
- 台湾との多方面での交流活性化

### ② 中海・宍道湖・大山圏域観光局による観光地域づくり

- 外国人観光客の誘客及び消費拡大
- 関連事業と連携した観光誘客の強化
  - ・ ホーランエンヤ、島根半島・宍道湖中海ジオパーク、大山隠岐国立公園満喫プロジェクト、日本遺産関連事業、国際定期航空便利用促進、FDA 静岡及び仙台便利用促進、水陸両用機運航 等

### ③ 圏域のさらなる連携と協働の実現

- 圏域内インフラの整備促進に関する要望及び調査
  - ・ 新幹線整備、8の字ルート等、交通ICカード
- 圏域への移住・定住等の促進
- 圏域の一体感の醸成

## 1. 力強い圏域産業の国内外への発信について

産学・医工連携事業では、「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」を中心に、自立した支援体制の構築に向け、知識習得のためのセミナー開催、ニーズの把握及びシーズの発掘、マッチング支援、開発支援、販路開拓支援などを展開し、全国や世界を相手にできる新産業の創出を目指します。

また、地方版総合戦略の重要施策である「圏域企業の海外進出支援のための官民挙げた「インド」進出」について、インドIT等の人材の圏域内企業への就職や日印企業の業務提携等に繋げる取組を継続的に展開します。新たに台北市との覚書締結を進め、多方面での交流の活性化を図ります。

さらには、鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」に参画するなど、新たなビジネス案件の模索、見本市等への参加に取り組みます。山陰いいものマルシェの開催については、山陰のいいものを全国発信するため、発展的に新しい取組を進めます。力強い産業圏域を形成し、日本海側の重要な戦略拠点として国内外へ発信します。

## 2. 中海・宍道湖・大山圏域観光局による観光地域づくりについて

地域一体の観光地域づくりを目指し、山陰インバウンド機構など観光関係団体と、互いに連携・調整をし、国内外へ情報発信やプロモーション事業を展開します。特にインバウンドについては、オリ・パラ 2020 や大阪万博 2025 を契機に、多彩な観光素材が集中し、山陰観光のゲートウェイであるこの圏域に外国人観光客を誘客し、山陰全体に波及させます。併せて、国際定期航空便（米子ソウル・香港便）の利用促進や国際チャーター便（出雲縁結び空港）の誘致にも取り組みます。

また、外国人観光客を受け入れることのできる環境を整備します。観光案内所ネットワーク化を推進するとともに、キャッシュレス決済システム導入や二次交通の充実などについて、業種別連絡会（飲食・物販・宿泊・交通）を通じて取り組み、外国人観光客の満足度を高め、圏域への誘客及び消費拡大を目指します。

さらには、ホーランエンヤや島根半島・宍道湖中海ジオパークなどの関連事業との連携による三大都市圏へのプロモーションに加え、FDA 静岡及び仙台便の利用促進に併せ、「東海・東北方面からの誘客」や、南北の縦軸をメインとした「山陽・四国方面からの誘客」の強化に取り組みます。

## 3. 圏域のさらなる連携と協働の実現について

この圏域は、古くから地理的、歴史的な繋がりが深く、現代においても、恵まれた生活環境や充実した都市機能を持つ山陰の中核的な都市圏です。地方版総合戦略策定時の圏域人口 66 万人は、日本海側では、新潟、金沢圏域に次ぐ3番目の人口集積地です。

それぞれの市が単独で事業を行うことが困難であっても、スケールメリットを活かし、住民の生活圏としての圏域が、ひとつの市であるかのごとく、連携と協働のもと、様々な事業に取り組むことができます。

圏域人口を維持するため、移住・定住等の促進を図るとともに、圏域の発展を支えるインフラ整備促進の要望活動や、交通ICカード導入調査事業など、圏域におけるさらなる連携と協働を強化し、一体感を醸成することで、圏域全体のボトムアップを目指します。

### ○ 中央要望に関する連携強化

- ・圏域内インフラ（新幹線整備、8の字ルート（境港出雲道路、米子境港間の高規格道路、米子道4車線化、中海架橋）など）の整備促進に関する要望等の強化

### ○ 圏域への移住・定住等の促進

- ・婚活事業、大学との連携（人材育成、地域定着等）

### ○ 圏域の一体感の醸成

- ・圏域内公共二次交通の周遊利便性向上に向けた調査研究の継続
- ・オリ・パラ2020や大阪万博2025を契機とした圏域の魅力発信
- ・中海・宍道湖など、圏域が有する自然環境資源を活用した取組の充実
- ・圏域内若年層の相互交流推進 等

# 令和元年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会 事業実施状況報告

## ◆事業概要

市長会基本方向(4本柱)において、地方創生推進交付金を活用しながら、各事業を実施します。	
一般会計	25事業 112, 246千円 (※事務局運営費、予備費を除く)
特別会計	1事業 15, 600千円

### 一般会計

#### 1 活力にあふれる圏域づくり(産業振興) 49,650千円

産学・医工連携事業を推進し全国や世界を相手にできる新産業の創出を目指します。  
インドとの経済交流事業では、インドIT等人材の圏域内企業への就職や日印企業の業務提携等に繋げる取組を展開します。

- 1) 圏域企業の産業連携支援事業
  - ・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング ……p.8
  - ・産学・医工連携事業 ……p.9
- 2) 圏域内企業の海外展開支援事業
  - ・ロシアへの販路拡大支援事業 ……p.11
  - ・海外商談会参加等支援事業 ……p.12
  - ・インドとの経済交流事業 ……p.13
  - ・台湾との経済交流事業 ……p.14
- 3) 山陰いいものマルシェプロジェクト
  - ・山陰いいものマルシェプロジェクト ……p.15

#### 2 訪ねてみたい圏域づくり(観光振興) ※圏域観光局が実施(協定締結) 43,000千円

中海・宍道湖・大山圏域観光局による、さらなるインバウンドの推進及び圏域内の関連事業と連携した取組を進め誘客強化、経済循環の拡大を図ります。

- 1) 外国人誘客対策事業
  - ・クルーズ客船寄港時のおもてなし ……p.16
  - ・圏域インバウンド対策事業 ……p.16
- 2) 国内誘客対策事業
  - ・国内での観光プロモーション ……p.17
  - ・三大都市圏等への圏域PRプロジェクト ……p.17
- 3) 圏域観光の魅力アップ事業
  - ・観光客受け入れ体制の充実 ……p.18
- 4) 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費
  - ・中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営 ……p.18

#### 3 住みたくなる圏域づくり(環境の充実) 2,000千円

中海・宍道湖、大山など圏域が有する自然環境資源の利活用を促進するとともに、充実した生活環境の豊かさを発信していきます。

- 1) 自然環境の保全・活用事業
  - ・自然環境学習 ……p.19
  - ・自然環境の保全・活用にかかる広報啓発 ……p.20
- 2) 安心して暮らすことのできる環境づくり事業
  - ・防災対策の充実 ……p.21

#### 4 とともに歩む圏域づくり(連携と協働) 17,596千円

圏域内インフラの整備促進に関する要望活動、圏域内の伝統芸能やスポーツなどを通じた相互交流を推進し、圏域の連携をさらに強化していきます。

- 1) 圏域情報の共有・発信
  - ・圏域内外のエリアプロモーション ……p.22
- 2) 圏域内の連携・交流推進
  - ・圏域内の連携・交流推進 ……p.23
  - ・人材育成の共同化 ……p.24
  - ・2020東京オリ・パラプロジェクト事業 ……p.25
  - ・文化・スポーツ交流促進事業 ……p.26
  - ・圏域情報活用推進事業 ……p.27
  - ・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業 ……p.28
  - ・移住・定住等促進事業 ……p.29
  - ・交通ICカード導入調査事業 ……p.30

#### 特別会計 環日本海貨客船航路就航支援補助金 15,600千円

- 1) 環日本海貨客船航路就航支援
  - ・定期貨客船航路就航支援補助金 ……p.31

令和元年度一般会計歳出予算 集計表

(単位：千円)

予算科目／事業名称	①H30 予算額 (補正第1号)	R元予算額			②の財源内訳			比較	
		当初	補正等	②現計 予算額	国・県 支出金	その他	一般財源	増減額 ②-①	増減理由
01 事務局運営費	16,632	16,087	0	16,087	0	12,000	4,087	△ 545	
01 事務局運営費	16,632	16,087	0	16,087	0	12,000	4,087	△ 545	
01 会議費	420	500	0	500	0	0	500	80	
会議費	420	500	0	500	0	0	500	80	
02 事務局運営費	16,212	15,587	0	15,587	0	12,000	3,587	△ 625	
旅費	500	300	0	300	0	0	300	△ 200	
需用費	1,006	1,279	0	1,279	0	0	1,279	273	
役務費	362	378	0	378	0	0	378	16	
委託料	36	647	0	647	0	0	647	611	
使用料及び賃借料	876	833	0	833	0	0	833	△ 43	
備品購入費	300	150	0	150	0	0	150	△ 150	
人件費負担金(1)	13,132	12,000	0	12,000	0	12,000	0	△ 1,132	
02 事業費	102,260	112,246	0	112,246	20,398	5,000	86,848	9,986	
01 活力にあふれる圏域づくり	52,700	49,650	0	49,650	12,998	5,000	31,652	△ 3,050	
01 圏域企業の産業連携支援事業	28,450	26,700	0	26,700	9,100	5,000	12,600	△ 1,750	
圏域内企業情報データベースの充実 圏域内企業のビジネスマッチング	8,500	8,500	0	8,500	0	5,000	3,500	0	
産学・医工連携事業	19,950	18,200	0	18,200	9,100	0	9,100	△ 1,750	交付金事業計画に基づく減(推進協議会への委託料の減)
02 圏域内企業の海外展開支援事業	14,250	15,450	0	15,450	3,898	0	11,552	1,200	
ロシアへの販路拡大支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
海外商談会参加等支援補助金	1,500	1,500	0	1,500	0	0	1,500	0	
インドとの経済交流事業	12,750	12,750	0	12,750	3,898	0	8,852	0	
台湾との経済交流事業	0	1,200	0	1,200			1,200	1,200	【新規】
03 山陰いいものマルシェプロジェクト	10,000	7,500	0	7,500	0	0	7,500	△ 2,500	
山陰いいものマルシェプロジェクト	10,000	7,500	0	7,500	0	0	7,500	△ 2,500	
02 訪ねてみたい圏域づくり	38,500	43,000	0	43,000	7,000	0	36,000	4,500	
01 外国人誘客対策事業	18,000	19,240	0	19,240	4,900	0	14,340	1,240	
クルーズ客船寄港時のおもてなし	4,000	5,000	0	5,000	0	0	5,000	1,000	寄港回数増によるおもてなし事業の増
圏域インバウンド対策事業	14,000	14,240	0	14,240	4,900	0	9,340	240	
02 国内誘客対策事業	16,000	18,700	0	18,700	2,100	0	16,600	2,700	
国内での観光プロモーション	2,000	3,700	0	3,700	0	0	3,700	1,700	出展料の増
三大都市圏等への圏域PRプロジェクト	14,000	15,000	0	15,000	2,100	0	12,900	1,000	WEBプロモーションの増
03 圏域観光の魅力アップ事業	1,500	1,000	0	1,000	0	0	1,000	△ 500	
観光客受け入れ体制の充実	1,500	1,000	0	1,000	0	0	1,000	△ 500	
04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費	3,000	4,060	0	4,060	0	0	4,060	1,060	
中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営	3,000	4,060	0	4,060	0	0	4,060	1,060	法人化に伴う運営費の増
03 住みたくなる圏域づくり	2,300	2,000	0	2,000	0	0	2,000	△ 300	
01 自然環境の保全・活用事業	1,800	1,800	0	1,800	0	0	1,800	0	
自然環境学習	800	800	0	800	0	0	800	0	
自然環境の保全・活用にかかる広報啓発	1,000	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	
02 安心して暮らすことのできる環境づくり事業	500	200	0	200	0	0	200	△ 300	
防災対策の充実	500	200	0	200	0	0	200	△ 300	
04 とともに歩む圏域づくり	8,760	17,596	0	17,596	400	0	17,196	8,836	
01 圏域情報の共有・発信	2,460	300	0	300	0	0	300	△ 2,160	
圏域内外へのエリアプロモーション	2,460	300	0	300	0	0	300	△ 2,160	
02 圏域内の連携・交流推進	6,300	17,296	0	17,296	400	0	16,896	10,996	
圏域内の連携・交流推進	1,100	3,860	0	3,860	0	0	3,860	2,760	インフラ整備関連要望活動費の増
人材育成の共同化	1,200	1,200	0	1,200	0	0	1,200	0	
2020東京オリ・パラ事前キャンプ誘致事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
文化・スポーツ交流促進事業	4,500	3,500	0	3,500	0	0	3,500	△ 1,000	圏域伝統芸能祭の減、イベント交流事業の増
圏域情報活用推進事業	1,000	0	0	0	0	0	0	0	
中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	0	200	0	200	0	0	200	200	事業化に伴う増
移住・定住等促進事業	0	2,036	0	2,036	400	0	1,636	2,036	【新規】
交通ICカード導入調査事業	0	6,500	0	6,500	0	0	6,500	6,500	【新規】
03 予備費	518	1,667	3,772	5,439	0	0	5,439	4,921	
01 予備費	518	1,667	3,772	5,439	0	0	5,439	4,921	
01 予備費	518	1,667	3,772	5,439	0	0	5,439	4,921	
予備費	518	1,667	3,772	5,439	0	0	5,439	4,921	
計	120,910	130,000	3,772	133,772	20,398	17,000	96,374	12,862	

# 令和元年度 中海・宍道湖・大山圏域市長会 事業実施状況報告

## 01 事務局運営費

### 1 事務局運営費

事業名等	事務局運営費																						
事業概要	平成30年度予算額		16,632,000 円																				
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。	令和元年度予算額		16,087,000 円																				
	財源内訳	国・県支出金	0 円																				
		補助金	0 円																				
		その他 負担金	12,000,000 円																				
		一般財源	4,087,000 円																				
<b>1. 事業内容</b> (1) 各種会議の開催 4/ 8 第1回企画担当課長会 23 第1回環境保全担当課長会 第1回産業振興担当課長会 24 第1回観光振興担当課長会 5/28 第1回地方版総合戦略ワーキンググループ 6/10 第2回観光振興担当課長会 18 第2回地方版総合戦略ワーキンググループ 24 第2回企画担当課長会 28 第1回トップミーティング 7/ 1 第1回幹事会 16 第1回総会  (2) 事務局の運営																							
<b>2. 事務局体制図</b> <span style="float: right;">平成31年4月現在</span> [市長会事務局] 事務局長 — 事務局次長(行政) — <ul style="list-style-type: none"> <li>企画員(行政) 産業・環境担当</li> <li>企画員(行政) 政策企画・庶務担当</li> <li>企画員(行政) 観光担当 (観光局担当)</li> <li>企画員(行政) 観光担当 (観光局担当)</li> </ul>																							
<b>3. 経費内訳</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・会議費</td><td style="text-align: right;">500,000 円</td></tr> <tr><td>・旅費</td><td style="text-align: right;">300,000 円</td></tr> <tr><td>・需用費</td><td style="text-align: right;">1,279,000 円</td></tr> <tr><td>・役務費</td><td style="text-align: right;">378,000 円</td></tr> <tr><td>・委託料</td><td style="text-align: right;">647,000 円</td></tr> <tr><td>・使用料及び賃借料</td><td style="text-align: right;">833,000 円</td></tr> <tr><td>・備品購入費</td><td style="text-align: right;">150,000 円</td></tr> <tr><td>・事務局運営費 (人件費)</td><td style="text-align: right;">12,000,000 円</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align: right;">16,087,000 円</td></tr> </tbody> </table>					予算額	・会議費	500,000 円	・旅費	300,000 円	・需用費	1,279,000 円	・役務費	378,000 円	・委託料	647,000 円	・使用料及び賃借料	833,000 円	・備品購入費	150,000 円	・事務局運営費 (人件費)	12,000,000 円	計	16,087,000 円
	予算額																						
・会議費	500,000 円																						
・旅費	300,000 円																						
・需用費	1,279,000 円																						
・役務費	378,000 円																						
・委託料	647,000 円																						
・使用料及び賃借料	833,000 円																						
・備品購入費	150,000 円																						
・事務局運営費 (人件費)	12,000,000 円																						
計	16,087,000 円																						
<b>【財 源】</b> 人件費負担金 12,000,000 円																							

## 1 活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	01 圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング			
事業概要			平成30年度予算額	8,500,000 円
			令和元年度予算額	8,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他	負担金	5,000,000 円
		一般財源	3,500,000 円	

## 1. 事業内容

## (1) 圏域内企業情報データベースの充実

圏域内企業間での産業連携や域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を質・量ともに充実させ、圏域内外企業へ向けた情報発信をさらに強化していく。

## (2) 圏域内企業のビジネスマッチング

ビジネスマッチング（商談会・名刺交換会）を開催することで、販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携などの促進につなげ、圏域経済の活性化を図る。

- ・11/21 ビジネスマッチング商談・展示会 2019in 出雲（平田会場）  
（出雲市平田町 平田文化館）

## 2. 経費内訳

- ・「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」への委託料 8,500,000 円

## 【財源】

- ものづくり実行委員会負担金 5,000,000 円

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	産学・医工連携事業			
事業概要			平成30年度予算額	19,950,000 円
			令和元年度予算額	18,200,000 円
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	9,100,000 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	9,100,000 円	
<p>1. 事業内容</p> <p>圏域の自治体、事業者、病院、国立大学、高専の産官学で行われている医工連携の取り組みを一層前進させるため、支援体制を整備し各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具等の圏域内外への販路開拓（出口支援）等、各段階における支援事業を展開していく。</p> <p>(1) 産学・医工連携の実現に向けた支援体制の強化に関すること</p> <p>ア 医工連携コンシェルジュ・アドバイザーによる事業推進・支援</p> <p>イ 普及啓発・広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会ホームページ等の活用による情報発信</li> <li>・各種セミナーの開催</li> <li>6/26 産学・医工連携講演会</li> <li>・商談等への支援</li> </ul> <p>ウ 自立した支援体制に向けての具体的取組の試行</p> <p>(2) 産学・医工連携に係る事業の総合調整及び調査研究に関すること</p> <p>ア 調査研究報告、勉強会、情報共有会の開催</p> <p>イ マーケティング調査の実施</p> <p>ウ ニーズ・シーズ調査及びデータベースの構築</p> <p>(3) 医療機関等との連携基盤の形成に関すること</p> <p>ア 各機関が実施する会議、講座等への参画</p> <p>(4) その他医工連携の推進に関する事項</p> <p>ア 医療機器開発支援（マッチング支援、開発支援、販路開拓支援、各種相談支援）</p> <p>イ 圏域の医療機器企業ネットワークの構築</p> <p>今年度開催の会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/29 推進協議会総会</li> <li>・賛助会員交流会</li> <li>・ニーズ調査評価委員会</li> <li>・勉強会</li> <li>・島根大学医学部附属病院と鳥取大学医学部附属病院との合同講演会</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p> <p>2. 経費内訳</p> <p>・「中海・宍道湖・大山圏域産学・医工連携推進協議会」への委託料</p>				
			<b>予算額</b>	
			18,200,000 円	
<b>【財源】</b>				
・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）				

◎本事業における数値目標（KPI）と実績

（単位：件 上段：目標値 下段：実績値）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
実用化件数	—	—	2	2	2
	—	<b>1</b>	<b>0</b>		
相談件数	—	100	100	100	100
	—	<b>78</b>	<b>101</b>		
マッチング成立件数	—	5	5	5	5
	—	<b>0</b>	<b>12</b>		

※上記のほか H30 は出口支援事業等によるマッチング件数 4 件あり。



事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	ロシアへの販路拡大支援事業			
事業概要			平成30年度予算額	－ 円
			令和元年度予算額	－ 円
	財源内訳	国・県支出金		－ 円
		補助金		－ 円
		その他		－ 円
		一般財源	－ 円	
<p>定期貨客船航路で境港と繋がるロシア；ウラジオストクにおけるビジネス展開や販路拡大を図り、北東アジアのゲートウェイ機能を果たす。  <b>※鳥取県版プラットフォーム参画により、市長会経費の支出なく事業実施</b></p>				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>平成22年度からの取組により、経済交流の促進、少数ではあるがビジネスの定着など、一定の効果は認められている。一方、その業種や企業は限定的になりつつあり、事業展開の見直しも必要な時期となっている。令和元年度においては、引き続き鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」と島根県事業（商社への委託事業）を活用し、ロシアへの販路拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/26 鳥取県版プラットフォーム主催会議参加</li> <li>・ 6/28 定期貨客船航路利用促進のため、DBS クルーズフェリー船内セミナーを境港貿易振興会と共催</li> <li>・ 7/5 鳥取県主催 DBS 就航10周年記念セレモニー、レセプション</li> </ul>				
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>上記、鳥取県版プラットフォームへの参画により、圏域としてプラットフォームが実施する事業への参加が可能となったため、市長会の経費を支出することなく事業を実施する。</p> <p>当該事業に係る令和元年度鳥取県当初予算額  ロシアビジネス拠点化構築事業 18,807千円</p>				

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業												
事業名	海外商談会参加等支援事業												
事業概要			平成30年度予算額	1,500,000 円									
			令和元年度予算額	1,500,000 円									
	財源内訳	国・県支出金		0 円									
		補助金		0 円									
		その他		0 円									
		一般財源	1,500,000 円										
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>海外での商談会等へ参加する圏域内の事業者に対し補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間 5/1～3/31</li> <li>・募集期間 5/1～1/31</li> <li>・対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体</li> <li>・補助金額 原則、補助対象経費の1/2 補助上限額10万円 ただし、以下の場合、①～②に応じた補助率、補助上限額。 ①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾での商談会に参加等する場合 補助対象経費の2/3 補助上限額15万円 ②前年度以前（H24～）に補助金の交付を受けている場合 補助対象経費の1/4 補助上限額10万円</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">経費内訳</th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・補助金</td> <td style="text-align: right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾×10社</td> <td style="text-align: right;">=1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>②上記①以外×5社</td> <td style="text-align: right;">= 500,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">1,500,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				経費内訳	予算額	・補助金	1,500,000 円	①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾×10社	=1,000,000 円	②上記①以外×5社	= 500,000 円	計	1,500,000 円
経費内訳	予算額												
・補助金	1,500,000 円												
①ロシア、韓国、中国、インド及び台湾×10社	=1,000,000 円												
②上記①以外×5社	= 500,000 円												
計	1,500,000 円												

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業																											
事業名	インドとの経済交流事業																											
事業概要			平成30年度予算額	12,750,000 円																								
			令和元年度予算額	12,750,000 円																								
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	3,898,000 円																								
		補助金		0 円																								
		その他		0 円																								
		一般財源	8,852,000 円																									
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>平成27年にインドケララ州政府と締結した経済交流を拡大する覚書(MOU)の具体化を図るため、山陰インド協会等の関係団体と連携し、総合戦略に掲げる「圏域企業の海外進出支援のための官民挙げた『インド』進出」及び人材確保実現に取り組む。また、圏域のIT企業等の魅力を向上することで、圏域へのU・Iターンに繋げていく。</p> <p>(1) 留学生インターンシップ・就職フェア等の開催  ・インドから留学生等を招聘し、島根大学での受講及び圏域内IT企業等におけるインターンシップや、現地での就職フェアを行う。  3/1～3/14 インターンシップ受入(受入人数14人)</p> <p>(2) 日本語教育(ケララ州)支援  ・日本人の日本語教師をコチ理工大学に配置し、大学等で日本語教育を行う。  4/1～実施</p> <p>(3) インドIT人材等雇用に関する課題調査  ・インドIT人材等を雇用するに当たっての生活面の配慮、環境整備、研修体制を調査し課題等を明らかにする。</p>																												
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・留学生インターンシップ</td> <td style="text-align: right;">6,240,000 円</td> </tr> <tr> <td>・日本語教育(ケララ州)支援</td> <td style="text-align: right;">4,460,000 円</td> </tr> <tr> <td>・インドIT人材等雇用に関する課題調査</td> <td style="text-align: right;">1,300,000 円</td> </tr> <tr> <td>・ケララ州での就職フェア開催</td> <td style="text-align: right;">750,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">12,750,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・留学生インターンシップ	6,240,000 円	・日本語教育(ケララ州)支援	4,460,000 円	・インドIT人材等雇用に関する課題調査	1,300,000 円	・ケララ州での就職フェア開催	750,000 円	計	12,750,000 円													
	予算額																											
・留学生インターンシップ	6,240,000 円																											
・日本語教育(ケララ州)支援	4,460,000 円																											
・インドIT人材等雇用に関する課題調査	1,300,000 円																											
・ケララ州での就職フェア開催	750,000 円																											
計	12,750,000 円																											
<p><b>【財源】</b></p> <p>・地方創生推進交付金 (国;内閣府 1/2)</p> <p>◎本事業における数値目標(KPI)と実績  (上段:目標値 下段:実績値)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">インドIT等人材の圏域内企業への就職者数(人)</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日印間業務提携企業数(社)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">インド人留学生インターンシップ受入れ人数(人)</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	H30	R1	R2	インドIT等人材の圏域内企業への就職者数(人)	3	5	15	5			日印間業務提携企業数(社)	1	1	2	1			インド人留学生インターンシップ受入れ人数(人)	14	14	14	14		
年度	H30	R1	R2																									
インドIT等人材の圏域内企業への就職者数(人)	3	5	15																									
	5																											
日印間業務提携企業数(社)	1	1	2																									
	1																											
インド人留学生インターンシップ受入れ人数(人)	14	14	14																									
	14																											

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業										
事業名	台湾との経済交流事業 【新規】										
事業概要			平成30年度予算額	0 円							
			令和元年度予算額	1,200,000 円							
	財源内訳	国・県支出金		円							
		補助金		円							
		その他		円							
市長会と台北市との新たな覚書の締結に合わせ、セミナーを開催し海外展開への機運の醸成を図る。また春節前建国花市に合わせて圏域PRを行う。		一般財源	1,200,000 円								
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>市長会と台北市との新たな覚書締結と圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催及び春節前建国花市での圏域PR等。</p> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費 ・2回程度開催予定 9/11 第1回開催で調整中</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">300,000 円</td> </tr> <tr> <td>○建国花市での圏域PR ・@200千円×2名（市長1名+随行1名）</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">400,000 円</td> </tr> <tr> <td>○台北市長来圏対応（歓迎式典等） ・9～10月の間に来圏で現在台北市側と調整中</td> <td style="text-align: right; vertical-align: top;">500,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	○圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費 ・2回程度開催予定 9/11 第1回開催で調整中	300,000 円	○建国花市での圏域PR ・@200千円×2名（市長1名+随行1名）	400,000 円	○台北市長来圏対応（歓迎式典等） ・9～10月の間に来圏で現在台北市側と調整中	500,000 円
	予算額										
○圏域内企業、支援機関、行政向けの台湾セミナー開催経費 ・2回程度開催予定 9/11 第1回開催で調整中	300,000 円										
○建国花市での圏域PR ・@200千円×2名（市長1名+随行1名）	400,000 円										
○台北市長来圏対応（歓迎式典等） ・9～10月の間に来圏で現在台北市側と調整中	500,000 円										

事業項目	03 山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業名	山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業概要			平成30年度予算額	10,000,000 円
			令和元年度予算額	7,500,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、JR西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。		一般財源		7,500,000 円
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>JR西日本、山陰中央新報社、ジェットロ、ブロック経済協議会及び圏域市長会の5者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」と協定を締結し実施。</p> <p>実行委員会会議開催</p> <p>(1) 圏域内でのマルシェ及び商談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月中 松江市で開催</li> </ul> <p>(2) 圏域外でのマルシェ開催、協力事業</p> <p>圏域外事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/27, 28 山陰いいものプレミアムマルシェ (JR大阪駅)</li> </ul> <p>協力事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/9 よなごグランマルシェ (米子市公会堂前庭)</li> <li>・いいもの五つ星パック (お中元、お歳暮シーズンに実施)</li> </ul> <p>その他2次展開事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 クルーズ船仕入れ担当による視察ツアーを島根県と連携し実施</li> </ul>				
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>・「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」への負担金</p>				<p>予算額</p> <p>7,500,000 円</p>

## 2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき（一社）観光局が実施

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし		
事業概要		平成30年度予算額	4,000,000 円
クルーズ船寄港時、岸壁にて、交流イベントや観光案内を実施するなど、来訪する外国人観光客の満足度アップを図る。	財 源 内 訳	令和元年度予算額	5,000,000 円
		国・県支出金	0 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
		一般財源	5,000,000 円
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 5,000,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 33 のとおり</p>			

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	圏域インバウンド対策事業		
事業概要		平成30年度予算額	14,000,000 円
圏域への外国人観光客誘致のための取組を実施する。	財 源 内 訳	令和元年度予算額	14,240,000 円
		国・県支出金	推進交付金 4,900,000 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
		一般財源	9,340,000 円
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 14,240,000 円</p> <p>【財 源】</p> <p>・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 34 のとおり</p>			

## 02 事業費

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	国内での観光プロモーション			
事業概要			平成30年度予算額	2,000,000 円
	国内各方面から圏域への観光客誘致のための取組を実施する。		令和元年度予算額	3,700,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	3,700,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 3,700,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 35 のとおり</p>				

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	三大都市圏等への圏域PRプロジェクト			
事業概要			平成30年度予算額	14,000,000 円
	人口集中地域である三大都市圏等（首都圏・中京圏・関西圏）において、圏域の魅力や観光資源の積極的な情報発信を行い、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和元年度予算額	15,000,000 円
	財源内訳	国・県支出金	推進交付金	2,100,000 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	12,900,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 15,000,000 円</p> <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）</li> </ul> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 36 のとおり</p>				

## 02 事業費

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業			
事業名	観光客受け入れ体制の充実			
事業概要			平成30年度予算額	1,500,000 円
			令和元年度予算額	1,000,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	1,000,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 1,000,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 37 のとおり</p>				

事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費			
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営			
事業概要			平成30年度予算額	3,000,000 円
			令和元年度予算額	4,060,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	4,060,000 円	
<p>中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づく負担金 4,060,000 円</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域観光局における事業実施状況報告は p. 38 のとおり</p>				



## 3 住みたくなる圏域づくり（環境の充実）

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業										
事業名	自然環境学習										
事業概要	平成30年度予算額		800,000 円								
ラムサール条約登録湿地の中海・宍道湖をはじめ圏域の豊かな自然環境等の学習及び関係機関と連携した情報発信を行う。	令和元年度予算額		800,000 円								
	財源内訳	国・県支出金	0 円								
		補助金	0 円								
		その他	0 円								
		一般財源	800,000 円								
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめ圏域の豊かな自然環境等の学習や鳥取・島根両県や「斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」など関係団体・組織と連携して情報発信を図る。</p> <p>(1) 自然環境学習の実施</p> <p>「子ども探検スクール」の開催</p> <p>例年募集人数を超える申し込みがあり、アンケート結果も好評な「中海・宍道湖子ども探検クルーズ」を、日本海、大山も素材として取り入れ再構築した「子ども探検スクール」として実施し、圏域の自然環境をより全体的に学習する機会を設ける。</p> <p>8/7 宍道湖コース 午前の部 8/7 宍道湖コース 午後の部 8/8 日本海 加賀の潜戸コース 8/20 中海コース 8/21 大山 木谷沢溪流散策コース</p> <p>(2) 鳥取・島根両県や関係団体と連携した活動</p> <p>両県連携事業や各種団体等と連携した事業を実施する。</p> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自然環境学習事業の開催経費</td> <td style="text-align: right;">600,000 円</td> </tr> <tr> <td>・関係団体等と連携したイベント等の共催経費</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">800,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・自然環境学習事業の開催経費	600,000 円	・関係団体等と連携したイベント等の共催経費	200,000 円	計	800,000 円
	予算額										
・自然環境学習事業の開催経費	600,000 円										
・関係団体等と連携したイベント等の共催経費	200,000 円										
計	800,000 円										

## 2 事業費

事業項目	01 自然環境の保全・活用事業			
事業名	自然環境の保全・活用にかかる広報啓発			
事業概要			平成30年度予算額	1,000,000 円
			令和元年度予算額	1,000,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	1,000,000 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) EVドライブマップの更新等 EVドライブマップに掲載している電気自動車の急速充電器設置箇所を更新したマップのホームページデータ更新等。</p> <p>(2) 自然環境の保全等に係る広報啓発 圏域内に存在する環境資源等の再発掘及び利活用に向け、また、圏域観光資源のひとつとなるよう、広報啓発を行う。中海・宍道湖一斉清掃など、市長会のPRの機会として積極的に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/9 中海・宍道湖一斉清掃で市長会ノベルティグッズを配布</li> <li>・水鳥フォトコンテスト作品展示</li> </ul> <p>6/17～6/21 出雲市役所 12/9～12/13 松江市役所</p>				
<b>2. 経費内訳</b>			<b>予算額</b>	
・EVドライブマップ データ更新経費			60,000 円	
・様々なメディアを活用した広報啓発			500,000 円	
・ノベルティグッズ、パンフ等製作経費			440,000 円	
計			1,000,000 円	

事業項目	02 安心して暮らすことのできる環境づくり事業						
事業名	防災対策の充実						
事業概要			平成30年度予算額	500,000 円			
	安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。		令和元年度予算額	200,000 円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円			
		補助金		0 円			
		その他		0 円			
一般財源			200,000 円				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) 中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入 各市防災担当課による連絡協議会を開催（連絡協議会幹事市：安来市） 災害発生時等において、各市間で融通し使用する防災資機材の購入</p> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 防災資機材の購入経費</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・ 防災資機材の購入経費	200,000 円
	予算額						
・ 防災資機材の購入経費	200,000 円						

## 4 とともに歩む圏域づくり（連携と協働）

事業項目	01 圏域情報の共有・発信			
事業名	圏域内外のエリアプロモーション			
事業概要			平成30年度予算額	300,000 円
			令和元年度予算額	300,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	300,000 円	
<p>圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。</p>				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) ホームページ等を活用した、圏域内外への広報周知 ホームページ管理業務委託</p>				
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>・ ホームページ運用管理委託料</p>				
			<b>予算額</b>	
				300,000 円

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域内の連携・交流推進			
事業概要			平成30年度予算額	1,100,000 円
	圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。		令和元年度予算額	3,860,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
		一般財源	3,860,000 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市、各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間、および各団体との意見交換の場を設けるなど、連携を促進するための仕掛けづくりを行う。</p> <p>(1) 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進</p> <p>(2) 圏域内インフラ（中海架橋、米子道4車線化、境港出雲道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動の実施等、圏域一体となって取り組む事業の推進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5/22 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議設立総会</li> <li>・ 6/12 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備について、国土交通省に対し要望活動実施</li> <li>・ 7/ 8 境港貨客船ターミナル整備事業に係る国予算の確保等について、国土交通省及び両県選出国會議員に対し要望活動実施</li> <li>・ 10/20 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備について、総決起大会を実施</li> </ul>				
<b>2. 経費内訳</b>			<b>予算額</b>	
・ 意見交換会、合同勉強会の開催経費			240,000 円	
・ 中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進事業			2,500,000 円	
・ 圏域内のインフラ整備に係る要望活動関係旅費			1,120,000 円	

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進						
事業名	人材育成の共同化						
事業概要			平成30年度予算額	1,200,000 円			
			令和元年度予算額	1,200,000 円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円			
		補助金		0 円			
		その他		0 円			
一般財源			1,200,000 円				
圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。							
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域の将来を担い、地方創生を進める人材を共同で育成するとともに、人的な交流を通じて業種や地域の垣根を越えた人的ネットワークの構築を推進する。</p> <p>(1) 官民が連携した人材育成研修等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山陰まんなか未来創造塾等の開催</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right;"><b>予算額</b></td> </tr> <tr> <td>・山陰まんなか未来創造塾等の開催経費</td> <td style="text-align: right;">1,200,000 円</td> </tr> </table>					<b>予算額</b>	・山陰まんなか未来創造塾等の開催経費	1,200,000 円
	<b>予算額</b>						
・山陰まんなか未来創造塾等の開催経費	1,200,000 円						

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	2020 東京オリ・パラプロジェクト事業			
事業概要			平成30年度予算額	— 円
			令和元年度予算額	— 円
	財源内訳	国・県支出金		— 円
		補助金		— 円
		その他		— 円
		一般財源	— 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>東京オリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら、圏域の情報をPRする取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化交流、おもてなし、多様性への配慮</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>—</p> <p>《参考》 各市の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019 レーザー級世界選手権大会（境港市）</li> <li>・クロアチア拠点セーリングチーム合宿（境港市）</li> <li>・ソフトボール女子TOP日本代表チーム強化合宿（出雲市）</li> </ul>				

事業項目	02 圏域内の連携と協働																						
事業名	文化・スポーツ交流促進事業																						
事業概要			平成30年度予算額	3,000,000 円																			
			令和元年度予算額	3,500,000 円																			
	財源内訳	国・県支出金		0 円																			
		補助金		0 円																			
		その他		0 円																			
		一般財源	3,500,000 円																				
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) 圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施、支援等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催</li> <li>・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援</li> </ul> <p>文化・スポーツ交流促進事業補助金</p> <p>実施期間 5/1～3/31</p> <p>募集期間 5/1～2/28</p> <p>対象者 次の要件をすべて満たす団体</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①圏域内に事務所を有し、継続的に活動が実施できる民間の団体であること。</li> <li>②法人（特定非営利活動促進法に規定する特定非営利活動法人を除く）ではないこと。</li> <li>③規約、会則等の取決めがあり、実施事業の適切な会計処理をすることができること。</li> </ol> <p>補助金額 補助対象経費の1/2（補助上限額：新規事業20万円、継続事業10万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業の実施</li> </ul>																							
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width:100%; border:none;"> <thead> <tr> <th style="width:80%;"></th> <th style="text-align:right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催</td> <td style="text-align:right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td>    スポーツ交流事業企画運営業務委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援</td> <td style="text-align:right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>    文化・スポーツ交流促進事業補助金</td> <td style="text-align:right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>        新規事業 @200千円×3団体 =</td> <td style="text-align:right;">600,000 円</td> </tr> <tr> <td>        継続事業 @100千円×9団体 =</td> <td style="text-align:right;">900,000 円</td> </tr> <tr> <td>・イベント交流事業の開催</td> <td style="text-align:right;">1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>    イベント交流事業委託料 @300千円×5市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align:right;">3,500,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催	500,000 円	スポーツ交流事業企画運営業務委託料		・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援	1,500,000 円	文化・スポーツ交流促進事業補助金	1,500,000 円	新規事業 @200千円×3団体 =	600,000 円	継続事業 @100千円×9団体 =	900,000 円	・イベント交流事業の開催	1,500,000 円	イベント交流事業委託料 @300千円×5市		計	3,500,000 円
	予算額																						
・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催	500,000 円																						
スポーツ交流事業企画運営業務委託料																							
・文化・スポーツ等の圏域交流イベントへの支援	1,500,000 円																						
文化・スポーツ交流促進事業補助金	1,500,000 円																						
新規事業 @200千円×3団体 =	600,000 円																						
継続事業 @100千円×9団体 =	900,000 円																						
・イベント交流事業の開催	1,500,000 円																						
イベント交流事業委託料 @300千円×5市																							
計	3,500,000 円																						



事業項目	02 圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域情報活用推進事業			
事業概要			平成30年度予算額	1,000,000 円
			令和元年度予算額	— 円
	財源内訳	国・県支出金		— 円
		補助金		— 円
		その他		— 円
圏域市長会構成市等のあらゆる情報を、圏域の連携事業に活用する。		一般財源	— 円	
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) オープンデータの利活用に向けた調査・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータの利活用及び必要とされるデータの公開に向けた調査・検討の実施。</li> </ul> <p>(2) ビッグデータ等の分析・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国経済連合会による「中海・宍道湖・大山圏域経済の「見える化」分析」の結果を活用した取組の検討。</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <p>—</p>				

事業項目	02 圏域内の連携と協働						
事業名	中海・宍道湖レガッタ開催支援事業						
事業概要			平成30年度予算額	0 円			
			令和元年度予算額	200,000 円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円			
		補助金		0 円			
		その他		0 円			
一般財源			200,000 円				
中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。							
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>(1) 中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援</p> <p>中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付し、大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/ 8 中海・宍道湖レガッタ</li> </ul>							
<p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金</td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金	200,000 円
	予算額						
・ 中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金	200,000 円						

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進		
事業名	移住・定住等促進事業 【新規】		
事業概要	平成30年度予算額		0 円
圏域人口60万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。	令和元年度予算額		2,036,000 円
	財源内訳	国・県支出金	400,000 円
		補助金	0 円
		その他	0 円
		一般財源	1,636,000 円
<b>1. 事業内容</b> (1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組 ※ 圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手の出会う機会を創出する。未婚化、晩婚化の改善をはかり、圏域における移住・定住の促進につなげる。 ・9/29 島根会場、10/6 鳥取会場  (2) 首都圏大学との圏域キャンパス事業 首都圏大学に通う学生との関わりを持つことで関係人口の創出を図る。また圏域を研究フィールドとして提供し、首都圏大学と圏域住民及び地元大学との交流を図る。 令和元年度は東京大学地域未来社会連携研究機構と包括協定を締結し交流を図る。  (3) 島根大学・若者を共に育てるプロジェクト 島根大学の学生に、圏域の特色・戦略・課題を学ぶ機会を創出し、将来的に圏域で活躍する人材の育成と、若者の地域への定着促進を図る。 COC人材育成コースの授業科目「イノベーション創成基礎セミナーⅠ」において実施する。授業では、学生を圏域5市のいずれかの担当として班分けし、実際の地域を訪れ、得た情報を分析し、成果発表を行う。(受講人数：50名) ・4/19、4/26 各市の職員による総合戦略やまちづくりについての講義 ・6/1 フィールドワーク(学生が、担当する市を象徴する場所に訪れ、写真撮影や、先進的な取組をする人・組織・場所についてインタビュー等を行う。) ・7/19 成果発表			
<b>2. 経費内訳</b>			<b>予算額</b>
・婚活 (UN-PAKU meeting) に係る経費			1,400,000 円
・首都圏大学との圏域キャンパス事業に係る経費			0 円
・島根大学・若者を共に育てるプロジェクトに係る経費			636,000 円
計			2,036,000 円
<b>【財源】</b>	・結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金(県；鳥取県 1/2) ※		

事業項目	02 圏域内の連携・交流推進										
事業名	交通ICカード導入調査事業 【新規】										
事業概要			平成30年度予算額	0 円							
			令和元年度予算額	6,500,000 円							
	財源内訳	国・県支出金		0 円							
		補助金		0 円							
		その他		0 円							
		一般財源	6,500,000 円								
<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>圏域内公共二次交通の利便性向上及び利用促進を図るため、圏域の路線バスへの交通ICカードの導入に関し、調査・設計等を行う。</p> <p>(1) 路線バスへの交通ICカード導入に係る調査・設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の抽出と整理</li> <li>・仕様の検討と基本設計</li> <li>・システム構成の検討</li> <li>・その他</li> </ul> <p>4/ 1 交通系ICカードシステムの導入検討に伴うコンサルティング業務委託の実施について、委託契約を締結</p> <p>(2) 先進地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ICカードシステムを導入している先進地の視察を行い、地域の観光・経済の活性化・バス交通の利便性の確保等に対する具体的な状況・施策等を把握する。</li> </ul> <p><b>2. 経費内訳</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="text-align: right;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・路線バスへの交通ICカード導入に向けた調査委託費</td> <td style="text-align: right;">6,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>・先進地視察に係る経費</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">6,500,000 円</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	・路線バスへの交通ICカード導入に向けた調査委託費	6,000,000 円	・先進地視察に係る経費	500,000 円	計	6,500,000 円
	予算額										
・路線バスへの交通ICカード導入に向けた調査委託費	6,000,000 円										
・先進地視察に係る経費	500,000 円										
計	6,500,000 円										

## 1 環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	01 環日本海貨客船航路就航支援補助金			
事業名	定期貨客船航路就航支援補助金			
事業概要			平成30年度予算額	15,600,000 円
	北東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。		令和元年度予算額	15,600,000 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		その他		0 円
	一般財源		15,600,000 円	
<b>1. 事業内容</b>				
(1) 定期貨客船航路就航支援補助金				
圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の自立的な運航への移行を支えながら、航路の定着、安定化を図るため、運航に必要な経費の一部を支援する。				
・ 1航次につき、運航経費のうち固定経費の1/10（上限1,000千円） @1,000千円×52航次×3/10=15,600千円				
・ 負担割合：鳥取県7/10、市長会3/10				
<b>2. 経費内訳</b>				
				<b>予算額</b>
環日本海貨客船航路就航支援補助金				15,600,000 円
<b>【財源】</b>				
《参考》				
・ 構成市の負担額				
出雲市・松江市・米子市各2,000千円 安来市1,000千円 境港市8,600千円				

2 訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

協定に基づき（一社）観光局が実施

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	クルーズ客船寄港時のおもてなし		
事業概要	平成30年度		4,000千円
	令和元年度		5,000千円
	財源内訳	国・県支出金	0千円
		補助金	0千円
		その他	0千円
一般財源		5,000千円	

1. 事業実施内容

令和2年春に完成予定の竹内南地区貨客船ターミナルを契機として、クルーズ客船寄港地の魅力向上、外国人観光客の圏域周遊促進及びより一層の消費の拡大を図る。

(1) 岸壁における観光案内業務・交流イベントの実施

クルーズ客船寄港地である境港市を中心に、市長会5市が協力して、クルーズ客船乗客及びクルー向けの交流イベント（伝統芸能披露、日本文化体験等）や観光案内を行う。

- ・観光案内業務の実施予定 26回（大型～中型船で実施）
- ・交流イベントの実施予定 57回（原則、全船で実施）

[令和元年クルーズ客船寄港予定 57回] \*令和2年1月～3月は未定

(2) 外国人観光客の圏域周遊促進及び消費拡大の取組

- ・鳥取県と連携して期間限定で実証実験（レンタサイクル）を実施

(3) 観光案内ボランティアの募集登録及び当日管理業務

外国語による観光案内ができる通訳ボランティアの募集・登録を行い、ボランティアによる観光案内業務を実施。

- ・中海・宍道湖観光協会会議に委託 ※対応可能言語；英語、韓国語、中国語、その他

(4) 境港のクルーズ客船の乗下船港に向けた取組

大型貨客船ターミナルオープンを契機として、寄港する各クルーズ客船の乗下船港になることを目標とした取組の検討を行うとともに、寄港増やオプションツアーへのアプローチ等の要望を行う。

2. 経費内訳

- ・観光案内業務、交流イベント等の実施に係る経費 4,000,000円
- ・観光案内ボランティアに係る経費 1,000,000円

計 5,000,000円

事業項目	01 外国人誘客対策事業		
事業名	圏域インバウンド対策事業		
事業概要		平成30年度	22,700千円
圏域への外国人観光客誘致のための取組を実施する。		令和元年度	21,090千円
	財源内訳	国・県支出金 推進交付金	4,900千円
		補助金	0千円
		その他	6,850千円
一般財源		9,340千円	

### 1. 事業実施内容

#### (1) 圏域に訪れる外国人観光客受入環境整備の実施

外国人観光客受入環境整備を推進して、来訪者の満足度を高め、圏域へのリピーター増加につなげる。

- ・表示物等整備（事業所等の説明文・メニュー等の多言語化支援（翻訳サービス）等）
- ・観光案内所ネットワーク化の推進（観光案内所連絡会にて研修等の実施）
- ・キャッシュレス決済システム導入、免税店登録の拡大、冬季（閑散期）対策、二次交通の充実など業種別連絡会（飲食・物販・宿泊・交通）を通じて取組む。

#### (2) 海外への観光プロモーションの実施

ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機として、重要ターゲット国・地域\*に対し観光プロモーションを行うことにより、圏域の魅力・観光資源の情報発信及び誘客促進を図る。

\*重要ターゲット国・地域；山陽方面に訪日している欧米豪及び近隣の空港に国際航空路線が就航する東アジア（台湾、香港）や東南アジア（シンガポール）の国・地域

- ・JNTO（日本政府観光局）賛助会員への加入
- ・プロモーション
  - 欧米豪向けWEBプロモーション※
  - 台湾向け現地プロモーション（トップセールス、見本市出展、現地メディア等）※
- ・英語版ホームページの充実（コンテンツ追加、SEO対策、災害時緊急対応等の機能改修）。SNS（Facebook, Instagram等）による情報発信。※
- ・テーマ別コンテンツの発掘、磨き上げ、組合せ、情報発信

圏域らしい観光コンテンツの発掘等を行い、各種プロモーション等に活用する。

### 2. 経費内訳

- ・外国人観光客受入環境整備に係る経費 7,120,000円
- ・海外への観光プロモーションに係る経費 13,970,000円（一部推進交付金対象事業）

計 21,090,000円

#### 【財 源】

- ・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）※

◎本事業における数値目標（KPI）と実績（上段：目標値 下段：実績）

年度	H30	R1	R2
圏域での外国人 宿泊者数（人）	107,894	115,447	123,000

事業項目	02 国内誘客対策事業			
事業名	国内での観光プロモーション			
事業概要	国内各方面から圏域への観光客誘致のための取組を実施する。	平成30年度	2,000千円	
		令和元年度	3,700千円	
		財源内訳	国・県支出金	0千円
			補助金	0千円
			その他	0千円
	一般財源		3,700千円	

### 1. 事業実施内容

国内各方面からの観光誘客促進、維持・増加のために、県、JR等の関係機関との連携による取組みを実施する。

#### (1) JR等と連携した観光プロモーションの実施

- ・ JR京阪神地区主要駅（8駅）におけるPRキャラバンの実施  
JR主催事業；年4回（6、9、12、3月）実施予定  
第1回キャラバン 6/12～6/13実施  
山陽方面におけるPRキャラバンの検討・実施
- ・ 航空自衛隊美保基地「航空祭」での観光プロモーション

#### (2) 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進

- ・ 「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する各空港の冬季利用促進事業の実施に係る経費の一部（上限各750,000円）を負担する。

#### (3) ツーリズムEXPOジャパン2019への出展

- ・ 国内観光需要の取り込み、海外からの訪圏旅行の誘致に向け、展示会や商談会、消費者向けのプロモーションを実施する。

#### (4) メディア・旅行会社への情報提供

- ・ 旬の観光情報や、圏域の魅力を定期的にパブリシティとして情報提供する。

### 2. 経費内訳

- ・ JR等と連携した観光プロモーションに係る経費 500,000円  
（参加者旅費及び配布物封入作業委託等）
  - ・ 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進経費 1,500,000円  
（750,000円×2空港）
  - ・ ツーリズムEXPOジャパン2019出展料、旅費等に係る経費 1,700,000円
- 計 3,700,000円



事業項目	02 国内誘客対策事業		
事業名	三大都市圏等への圏域PRプロジェクト		
事業概要		平成30年度	14,000千円
人口集中地域である三大都市圏（首都圏・中京圏・関西圏）等において、圏域の魅力や観光資源の積極的な情報発信を行い、圏域の認知度向上、観光誘客を図る。		令和元年度	15,000千円
	財源内訳	国・県支出金 推進交付金	2,100千円
		補助金	0千円
		その他	0千円
		一般財源	12,900千円

### 1. 事業実施内容

圏域内における大きな関連イベント（ホーランエンヤ、島根半島・宍道湖中海ジオパーク、大山隠岐国立公園満喫プロジェクト、日本遺産関連事業、国際定期航空便利用促進、FDA静岡及び仙台便利用促進、水陸両用機運航等）と連携強化しながら、人口集中地域である三大都市圏（首都圏、中京圏、関西圏）等をターゲットに、圏域の魅力・観光資源を発信することにより、圏域の認知度向上に努め、三大都市圏等から圏域への観光誘客を図る。

#### (1) 三大都市圏への観光プロモーション

- ・メディア（雑誌）を活用した通年プロモーション※公募型プロポーザルにより実施  
「メディア通年プロモーション業務」のプロポーザルを実施
- ※今後の予定：企画提案書締切7/11、一次審査、二次審査（プレゼンテーション）

#### (2) 三大都市圏以外への観光プロモーション

- ・南北軸を結ぶ山陽方面からの誘客プロジェクト
- ・東北・静岡方面からの誘客プロジェクト

#### (3) WEBによるプロモーション

- ・日本語ホームページの新規開設・活用。SNSによる情報発信。

### 2. 経費内訳

- ・三大都市圏への観光プロモーションに係る経費 6,000,000円（推進交付金事業）
- ・三大都市圏以外への観光プロモーションに係る経費 6,000,000円
- ・WEBによるプロモーションに係る経費 3,000,000円

計 15,000,000円

### 【財 源】

- ・地方創生推進交付金（国；内閣府 1/2）※

◎本事業における数値目標（KPI）と実績（上段：目標値 下段：実績）

年度	H30	R1	R2
圏域への観光 入込客数 (人)	35,815,000	38,257,500	40,700,000

事業項目	03 圏域観光の魅力アップ事業		
事業名	観光客受け入れ体制の充実		
事業概要	平成30年度	1,500千円	
国内外から圏域へ来訪する観光客の受入の充実や周遊性の向上を図るなど、リピーターの確保に繋がる取組を実施する。	令和元年度	1,000千円	
	財源内訳	国・県支出金	0千円
		補助金	0千円
		その他	0千円
	一般財源	1,000千円	

**1. 事業実施内容**

圏域内で取り組みが進む各種事業との連携を密にし、圏域の魅力アップにつながる事業への参加・協力・支援等の取組を行う。

また、国内、海外から圏域へ来訪する観光客の受け入れ体制の充実や圏域観光に係る人材のスキルアップを図り、圏域をあげたリピーターの確保につながる取組を実施する。

(1) 各種事業との連携、参加・協力・支援及び圏域来訪客配布用ノベルティ・パンフレット作成等

**2. 経費内訳**

・各種事業との連携、協力・支援及びノベルティ、パンフレット作成等経費 1,000,000円

事業項目	04 中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局運営費		
事業名	中海・宍道湖・大山圏域観光局事務局の運営		
事業概要	平成30年度	3,000千円	
市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し設立した本圏域のDMO組織を運営し、圏域の観光振興事業を実施する。	令和元年度	8,015千円	
	財源内訳	国・県支出金	0千円
		補助金	0千円
		その他	3,955千円
	一般財源	4,060千円	

### 1. 事業実施内容

圏域市長会とブロック経済協議会並びに観光協会会議が連携し設立した本圏域のDMO組織の体制を整備（法人化への移行及び観光庁日本版DMOの正式登録等）し、運営することで、さらなる圏域経済の振興及び地域活性化を図るとともに、自立・自走ができる組織運営の検証と更なる展開を目指す。

また、山陰インバウンド機構、県等と連携しマーケティングを図る。

(1) 圏域観光局の運営に係る嘱託職員等の雇用

(2) 自立・自走に向けた試行の検証と更なる展開及びDMO組織体制の整備・運営

※日本版DMO登録申請（6/14付）：申請結果は7月下旬の予定

### 2. 経費内訳

- ・専従職員「プランナー（嘱託職員）」設置経費 2,193,000円
- ・専従職員「事務局次長（嘱託職員）」設置経費 3,955,000円
- ・法人化移行に伴う経費 867,000円
- ・事務局運営費 1,000,000円

計 8,015,000円